

1	(1) 907	(2) 92	(3) 721	(4) 167
	(5) 34	(6) 285	(7) 20 (分)	(8) 40 (cm)
	(9) 44	(10) 13 (才)	(11) 2 (個)	(12) 34

2	(1) 9 cm	(2) 29 (cm)
---	----------	-------------

3	(1) 8 個	(2) 400 円
---	---------	-----------

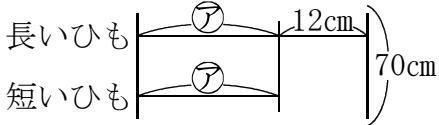
4	(1) 7 通り	(2) 21 通り
---	----------	-----------

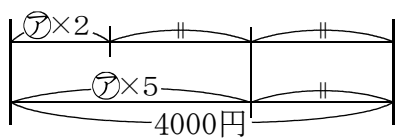
5	(1) 12 cm	(2) 24 cm
---	-----------	-----------

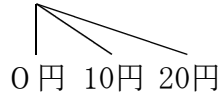
6	(1) 5 行目	(2) 3 回
---	----------	---------

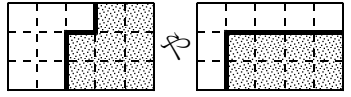
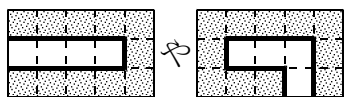
(配点) 1 ; 各5点×12 他 ; 各4点×10

- 1 (5)  $89 + \square = 123$   
 $\square = 123 - 89 = \underline{34}$
- (6)  $\square - 43 - 97 = 145$   
 $\square = 145 + 97 + 43 = \underline{285}$
- (7) 3時間 = 180分  
 180分 = 20分 × 9より、20分。
- (8) 40m = 4000cm  
 4000 = 40 × 100より、40cm。
- (9)  $\square - 10 = \triangle$      $\triangle$ の半部分が17  
 $17 \times 2 = 34 \cdots \triangle$      $34 + 10 = \underline{44} \cdots \square$
- (10) 全員が5才ずつへる。  $5 \times 3 = 15$  (才)  
 $28 - 15 = \underline{13}$  (才)
- (11)  $23 - 12 = 11$  (個) … 白いボール  
 $11 - 5 = 6$  (個) … 大きくて白いボール  
 $8 - 6 = \underline{2}$  (個) … 大きくて赤いボール
- |    |     |    |     |
|----|-----|----|-----|
|    | 赤   | 白  | 合計  |
| 大  |     |    | 8個  |
| 小  |     | 5個 |     |
| 合計 | 12個 |    | 23個 |
- $\rightarrow$
- |    |     |     |     |
|----|-----|-----|-----|
|    | 赤   | 白   | 合計  |
| 大  | 2個  | 6個  | 8個  |
| 小  |     | 5個  |     |
| 合計 | 12個 | 11個 | 23個 |
- (12) 12から19までで8個。  
 23から29までで7個。  
 $16 - 8 - 7 = 1$  (個)より、16番目は34。

- 2 (1)  $100 - 65 = 35$  (cm)     $65 - 37 = 28$  (cm)  
 よって、3本のひもは28cm, 35cm, 37cm。  
 $\rightarrow 37 - 28 = \underline{9}$  (cm)
- (2)  $100 - 70 = 30$  (cm)  
 これが一番短いひものとき、一番長いひもの長さは、 $30 + 12 = 42$  (cm)  
 残る1本のひもの長さは  $70 - 42 = 28$  (cm) になり、おかしい。  
 よって、右の図のようになる。
- 
- $70 - 12 = 58$  (cm)     $58 = 29 + 29$ より、 $\textcircled{?} = \underline{29}$  (cm) となる。

- 3 (1)  $5 - 2 = 3$  (個)  $\rightarrow$  残ったお金の差は、 $\textcircled{?}$  3個分。
- 
- が  $\textcircled{?} \times 3$  になるので、 $5 + 3 = 8$ より、4000円は  $\textcircled{?} 8$  個分。
- (2)  $4000 = 500 \times 8$ より、 $\textcircled{?} 1$  個は500円。  
 $500 \times 3 = 1500$  (円)  
 $4000 - 1500 - 1700 = 800$  (円)  
 $800 = 400 \times 2 \rightarrow \textcircled{?} 1$  個は400円。

- 4 (1)  $50 + 50 + 100 + 100 = 300$  (円)  
 よって、0円, 50円, 100円, 150円, 200円, 250円, 300円の7通り。
- (2) 10円玉が2枚あると、(1)の7通り0円の金額から、表せる金額はそれぞれ右の図のように3倍にふえるので、  
 $7 \times 3 = \underline{21}$  (通り)
- 

- 5 (1) 全部で15マスあって、大きい方は8マス以上。  
 最小は右上の図のような場合で、まわりの長さは12cm。
- 
- (2) なるべく多くの正方形が、長くつながる形を  
 考える。最大は右上の図のような場合で、まわりの長さは24cm。
- 

- 6 (1) 9月は30日までであり、1日は金曜日で、2日は土曜日。3日の日曜日から2行目に入る。  
 $2 + 7 + 7 + 7 + 7 = 30$  (日)より、9月のカレンダーは5行目まで。
- (2) 1か月が30日のとき、4月のカレンダーのように、6行になるのは  $1 + 7 + 7 + 7 + 7 + 1$  の形。  
 よって、1日が土曜日。  
 この年の30日までである月では4月だけ。  
 1か月が31日のとき、6行になるのは  $1 + 7 + 7 + 7 + 7 + 2$  か、  
 $2 + 7 + 7 + 7 + 7 + 1$  の形。  
 よって、1日が土曜日か金曜日。  
 この年の31日までである月では7月と12月。  
 よって、3回。
- (配点) 1 ; 各5点 × 12    他 ; 各4点 × 10